

平成21年度
定期総会議案

と き 平成21年5月26日(火) 13時30分

ところ 富山県民会館8階キャッスル

高山本線強化促進同盟会

総会次第

1 開 会

2 会長あいさつ

3 来賓紹介

4 祝電披露

5 議 事

議案第1号 平成20年度事業報告について

議案第2号 平成20年度収支決算について

議案第3号 平成21年度事業計画（案）について

議案第4号 平成21年度収支予算（案）について

報告第1号 会員の異動報告について

6 決 議

7 閉 会

平成20年度事業報告

自 平成20年4月 1日

至 平成21年3月31日

年 月 日	事 業 内 容
20. 8. 6	幹事会を開催し、定期総会の日程、提出議案、今年度事業内容等を協議（岐阜市）
20. 9. 4	<p>定期総会を開催し、平成19年度事業報告及び同収支決算並びに平成20年度事業計画（案）及び同収支予算（案）を審議決定（美濃加茂市）</p> <p>[決議]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進 <p>定期総会に引き続き講演会を開催し、岐阜大学工学部教授 高木朗義 氏を講師に招き「高山本線とアセットマネジメント～安全・安心な暮らしを目指して～」をテーマに講演を行った。</p>
20. 10. 9	全国鉄道整備促進協議会事務担当者研修会に出席（名古屋市）
21. 1. 14	<p>東海旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（名古屋市）</p> <p>[要望事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進
21. 2. 4	<p>西日本旅客鉄道株式会社に対し、要望実施（金沢市）</p> <p>[要望事項]</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 旅客輸送サービスの強化改善 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進
21. 2. 25	<p>担当者研修会を開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 事例発表「高山本線活性化社会実験について」 発表者 富山市交通政策課 交通計画係長 金山英樹 氏 ・ 講演「地域共生型サービス企業を目指して」 講師 えちぜん鉄道株式会社取締役 島 洋 氏 <p>研修会に引き続き、幹事会を開催し、定期総会の日程と高山本線全線開通75周年記念事業等について協議（富山市）</p>

平成20年度収支決算

自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日

収入の部

(単位:円)

科目	予算額	収入済額	差引増減 (△)額	摘要
1 負担金	426,000	426,000	0	20団体
2 繰入金	0	0	0	
3 繰越金	878,000	878,938	938	前年度繰越金
4 雑入	1,000	1,126	126	預金利息
計	1,305,000	1,306,064	1,064	

支出の部

(単位:円)

科目	予算額	決算額	差引増減 (△)額	摘要
1 会議費	300,000	229,042	△ 70,958	総会、幹事会経費
2 事業費	975,000	73,501	△ 901,499	総会講演会開催経費 担当者研修会開催経費
3 事務費	10,000	2,415	△ 7,585	振込手数料
4 負担金	15,000	15,000	0	全国鉄道整備促進協議会負担金
5 積立金	0	0	0	
6 予備費	5,000	0	△ 5,000	
計	1,305,000	319,958	△ 985,042	

収入合計 1,306,064円

支出合計 319,958円

差引残高 986,106円(平成21年度へ繰越)

監査報告書

高山本線強化促進同盟会会則第7条第5項の規定により、平成20年度決算について、監査を実施し、証拠書類、帳簿などを精査したところ、適正に執行されていたことを認めます。

平成21年5月 日

監事 下呂商工会会長 中川 正之

監事 富山市八尾山田商工会会長 川原 敏彦

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 石井 隆一 殿

(原本は事務局にて保管)

平成 2 1 年度事業計画（案）

本同盟会は、高山本線が地域における重要な鉄道として大きな役割を果たしていることから、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社に対し、複線電化の早期完成及びスピードアップ、サービス改善等の推進を要望する。また、平成 2 1 年度は、高山本線全線開通 7 5 周年にあたることから、この機会を捉え、利用促進を図るための広報・啓発活動を実施するものとする。

事業計画

- 1 旅客輸送サービスの強化改善、複線電化の促進、軌道等の強化と防災施設の整備促進について、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社に対し、その実現を強く働きかける。
 - ・ 特急「ワイドビューひだ」号の増発
 - ・ 部分線増、一線スルー化、分岐器の改良等によるスピードアップ
 - ・ 朝夕の通勤・通学時間帯及び昼間時間帯における普通列車の充実
 - ・ 季節的臨時列車の増発、企画切符の導入など観光客増加策の推進
 - ・ 北陸新幹線開業を視野に入れた強化方策の推進
- 2 本年は、全線開通 75 周年にあたることから、記念事業を実施する。その他、利用者増を図るため、啓発活動を積極的に展開する。
- 3 情報・資料の収集に努めるとともに、高山本線の果たす役割、重要性について広報活動を推進する。
- 4 全国鉄道整備促進協議会等関係諸団体と連携し、本会事業の促進を図る。
- 5 その他、運動の目的を達成するため、会長が必要と認める事業を実施する。

平成21年度収支予算(案)

自 平成21年4月 1日
至 平成22年3月31日

収入の部

(単位:円)

科 目	平成21年度 予 算 額	平成20年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 負担金	426,000	426,000	0	20団体
2 繰入金	0	0	0	
3 繰越金	986,106	878,000	108,106	前年度繰越金
4 雑入	894	1,000	△ 106	預金利息
計	1,413,000	1,305,000	108,000	

支出の部

(単位:千円)

科 目	平成21年度 予 算 額	平成20年度 予 算 額	比較増減 (△) 額	摘 要
1 会議費	300,000	300,000	0	総会、幹事会経費等
2 事業費	983,000	975,000	8,000	全線開通75周年記念事業 広報・啓発事業費等
3 事務費	10,000	10,000	0	振込手数料
4 負担金	15,000	15,000	0	全国鉄道整備促進協議会 負担金
5 積立金	100,000	0	100,000	80周年記念事業積立金
6 予備費	5,000	5,000	0	
計	1,413,000	1,305,000	108,000	

平成21年度負担金内訳表

(単位：円)

団 体 名	負 担 金 額	団 体 名	負 担 金 額
愛 知 県	32,000	白 川 町	7,000
岐 阜 県	64,000	飛 騨 市	32,000
岐 阜 市	32,000	岐阜商工会議所	7,000
高 山 市	32,000	高山商工会議所	7,000
美 濃 加 茂 市	18,000	神岡商工会議所	7,000
各 務 原 市	18,000	下呂温泉観光協会	7,000
下 呂 市	32,000	富 山 県	64,000
坂 祝 町	7,000	富 山 市	32,000
川 辺 町	7,000	高 岡 市	7,000
七 宗 町	7,000	富山商工会議所	7,000
		合 計	426,000

会員の異動報告

次のとおり、会員の異動がありましたので、報告いたします。

異動の種類	異動年月日	新会員名	旧会員名
合併	平成21年4月1日	富山市南商工会会長	大沢野細入商工会会長 婦中町商工会会長
合併	平成21年2月28日	富山市八尾山田商工会会長	八尾町商工会会長

平成21年5月26日現在の会員数は53

高山本線強化促進同盟会

会長 富山県知事 石井 隆一

決 議 (案)

高山本線は、これまで70年あまり、我が国のほぼ中央部において日本海側と太平洋側とを結ぶ交通の大動脈としての役割を担い、沿線各地はもとより中部圏全体の交流の活発化を図り、経済・文化の発展、向上に寄与してきた基幹鉄道である。

平成16年10月の台風23号被害により、長期間にわたり不通となっていた角川駅から猪谷駅間が平成19年9月8日に復旧し、高山本線全線で運行が再開されたことから、個性豊かな沿線地域を結ぶ交流の柱として、その使命を再び果たすこととなり、沿線地域のインフラ整備とあいまって、中部圏の活性化に大きく貢献していくこととなった。

さらに、将来、北陸新幹線が開業し、高山本線が北陸新幹線に接続されると、首都圏から中部圏への新たな移動ルートとして、その役割を果たすこととなり、高山本線の重要性はますます高まるものと確信する。

このような中、東海旅客鉄道株式会社及び西日本旅客鉄道株式会社におかれては、今後、さらに高山本線に関する積極的経営施策を展開し、広域的サービスはもとより、地域密着型サービスの提供に努められるよう、強く要望するものである。

また、これまでも高山本線のスピードアップ、ダイヤの充実等による利便性の向上、鉄道施設の改良、点検、社員教育等による安全対策に努められているところであるが、鉄道輸送の最重要課題である「安全性の確保」のため、より一層の安全対策、安全運行に努められるとともに、下記事項の実現について併せて要望するものである。

記

- 1 旅客輸送サービスの強化改善
- 2 全線電化の早期完成及び複線化の促進
- 3 軌道及び保安設備の強化と防災施設の整備促進

以上決議する

平成21年5月26日

高山本線強化促進同盟会